茅野市と狛江市の両市消防団による合同訓練を実施しました

2026.11.24
定例記者会見資料
（情報提供）

近年、全国で発生している大規模災害の激甚化・多様化に伴い消防団に期待される役割も高度化・多様化している中、狛江市では、災害時相互応援協定を締結している長野県茅野市にて、林野火災などで排水ポンプ車を活用することを想定し、大規模災害時の連携強化及び即応力向上を目的とした、両市消防団による合同訓練を11月22日（日）に実施しました。合同訓練には、茅野市66名（消防団62名、事務局4名）、狛江市36名（消防団29名、事務局4名、狛江消防署3名）が参加しました。

茅野市消防団との合同訓練

茅野市に狛江市から排水ポンプ車及び関連資機材を持込み、茅野市立北部中学校で実施しました。排水ポンプにて送水を行い、五分岐金具を介して簡易水槽にて充水、消防ポンプ車にて放水を行いました。



訓練の様子



排水ポンプの写真

排水ポンプ車を配備した経緯

令和元年東日本台風で、猪方排水樋管及び六郷排水樋管周辺の低地部を中心に、浸水被害が発生しました。これを受け、浸水被害の防止・軽減を目的として、令和3年12月から排水ポンプ車を消防団に配備し、訓練等でも活用しています。

なお、狛江市と茅野市は、令和6年12月1日、駒澤首長会の枠組みを活かし、8都道県10自治体による災害時相互応援協定を締結しています。



五分岐金具



放水の様子

【問い合わせ】
狛江市安心安全課長　松井　03-3430-1111（内線8200）